

令和7年度 第1回 学校関係者評価委員会 議事録

日 時 令和7年10月3日(水) 10時～11時
場 所 姫路福祉保育専門学校 会議室
出席者 下林理事長 前田校長 三村副校長 吉岡委員長
田磨委員 水野委員 豊蔵委員 栄井委員 瀧川委員
(欠席) 成山委員 鳥羽委員

- 1 開 会
- 2 理事長挨拶
- 3 委員長挨拶
- 4 報告事項

(1) 学生の取り組みや資質に関する分析について

副校長より下記の内容で説明を行った。特記すべき質問はなく、時代の変化が著しい中の指導の難しさについて意見交換がなされた。

[学生の検証について]

- ・2年生は日本語レベルが低く、学習意欲の差が精神面も学力面も差が出ているため、国家試験対策はレベルに分けて対策する。
- ・1年生はN3を所持している学生が多く、学習面、生活面においても理解力が高く、指導が入りやすい。
- ・日本での生活については、両学年ともまだまだ指導が必要である。
- ・日本人学生も真面目に取り組んでいる。

校長より下記のとおり、補足説明がなされた。

- ・来年度より国家試験に対する経過措置がなくなる可能性が検討されているため、定期試験等は今以上にレベルを下げないことが必要と考えている。
- ・教育課程編成委員会で介護施設側から意見をいただき検討の結果、情報処理の内容は現場における実戦力向上を重視し、「観察内容を、自分で考え文章にできる力」の育成に重点をおくようにする。パワーポイント資料の作成等、ハイレベルの内容は見直す。
- ・自分の健康管理の意識が低い学生が体調を維持することができにくく、授業やアルバイトを簡単に休む傾向がみられるため、生活面の指導もこれまで同様に力を注ぐように心がける。

(2) 法律や制度等の変更を受けて

- ・来年度、介護福祉士国家資格の経過措置が終了する可能性があるため、留学生のセンサーの確保はますます難しくなると予想される。そのために、留学生の入学時における日本語レベルの高い学生を取得しなければならず、希望する学生数への影響も多大であると思われる。
- ・上記に対応するため、年度途中ではあるが、次年度より入学定員数を60名から40名に変更した。これはまた、授業料無償化対象校であることの要件(募集定員の1/2を超えていること)を損なわないための措置でもある。

(3) 自己評価表について

- ・昨年度の安全衛生委員会の決定受け、従来の評価点は経年比較できるように残しつつ、新しい項目を入れた自己評価表を今年度から実施する。
- ・評価項目を現状の課題に範囲できるよう見直し、さらには評価者が回答しやすい書式にしているので、今まで以上に学校評価及び自己評価を、学校運営に反映できると期

待している。

(4) 留学生募集の新しい取り組みについて

- ・倉敷外語学院とネパールの日本語学校「日本語教育文化センター」との連携した選抜制度を導入した。
この制度に6施設からの申し込みがある。令和9年度本校入学の学生を現時点で10名以上が決定した。このしくみが安定すれば、質の高い留学生の確保が安定する予想できるので、さらに充実させる方向で進める。
- ・今年度の受験生の中に、自費での入学を希望する学生がある。授業料の納入が2年間継続できるかどうかという不安もあるが、留学生にとっては新しい入学の方法になり、公的な修学資金を活用しない分、合格させる方法が増えることとなる。
このことは、吉岡委員長からも高評価を得た。

(5) 職員の体制について

- ・事務処理、広報強化、学生のフォロー等、これまで以上に校務が多岐にわたっていることを考慮して、職員を1名補強することを進めている。まだ、本格的な雇用には至っていないが、候補者を確定させて、今後11月を目途に具体化していく予定である。

5 委員からのご意見

- ・SNS等での発信は、以前からも指摘しているが、高校生に近い世代の視点や発想、発信センスが効果的であるので、若い世代からの発信を今以上に検討することを進める。
- ・経営面とのバランスは十分に考慮しなければならないことはわかっているが、職員の補強も大切なことと考えられるので、いい方向に進むことを期待する。
- ・高校生年代へのアプローチの充実・中学校から興味を持ってもらえるように、地域に向けた更なるアプローチも忘れないことが重要である。
- ・制度の変更への対応、在学生への指導、留学生への配慮、新入生の募集活動等、本当に学校運営の大変さと、そこに真摯に取り組んでいる職員への敬意と労いをいただいた。

6 閉 会

吉岡委員長からの、委員の皆さまに対するお礼と、学校の更なる発展への励ましの言葉で本会は締めくくられた。

令和7年度 第2回 学校関係者評価委員会 議事録

日 時 令和7年10月3日(水) 10時30分～12時
場 所 姫路福祉保育専門学校 会議室
出席者 下林理事長 前田校長 三村副校長 吉岡委員長 成山委員
田摩委員 水野委員 豊蔵委員 栄井委員 瀧川委員
(欠席) 鳥羽委員

1 開 会

2 理事長挨拶

3 委員長挨拶

4 報告事項

(1) 令和7年度自己評価及び学校評価について

それぞれの職員が評価して出てきた分析内容を校長より説明があり、意見交換がなされた。
特に教職員の研修についての項目が改善されていない点について話し合われた。教員のスキルアップのための研修が必要になっているが、留学生に対して多くの時間を費やしているので、研修等の情報は回覧などして共有しているが参加する余裕がない現状である。

(2) 今年見直した内容について

今年度から学校評価と自己評価に分かれて評価したことは随分分かりやすくなった。
卒業生に対してのフォローについて新しい項目に挙げられているが、新入生獲得についてはもっと卒業生のネットワークを活用できるように工夫すべき点がまだまだ多い。

5 協議事項

(1) 令和7年度自己評価及び学校評価の報告について

6 その他

(1) 次年度の会議日程について

今年度とほぼ同じ時期(年に2回、10月と2月)に予定したいと思っている。

7 閉 会

[参考資料]

在籍者数	1年生	本科生	日本人	2名	留学生	31名	委託訓練生	1名
	2年生	本科生	日本人	3名	留学生	42名	委託訓練生	0名
入学予定数		本科生	日本人	1名	留学生	38名	委託訓練生	募集中